

# 環境衛生課からの お知らせ

## プラスチックごみの品質検査

皆さまの家庭から出されたプラスチックごみ（以下、プラごみ）は、町営プラスチック収集場でリサイクルできるプラごみと不純物などに選別され、北九州市のプラスチック再商品化工場（以下、再生工場）で、プラスチックの材料などに再生されます（令和元年度（2019年度）現在）。再生工場に送られるプラごみの品質は、再資源化の効率や再資源化製品の品質に関わってくるため、その再生工場で年1回、検査を専門に行う会社によって、詳しく検査されます。

今年度の検査は令和元年（2019年）10月30日（水）に環境衛生課員が立ち会いのもと行われました。検査は大きなシートの上でプラごみを広げ、数人の作業員が念入りにチェックしました。

検査は不適合物の混入比率により評価され、低評価が続くとプラごみの受け入れを拒否されてしまいます。

環境衛生課（吉備庁舎）  
清水行政局 建設環境室

「ごみ分別すれば資源」

今回の検査成績は、町民の皆さまの絶え間ないごみ分別努力の結果、品質評価については最優秀のA評価でした。ただ、禁忌品に該当する「インスリン注射器」や「かみそりの刃」の混入があり、禁忌品が無評価については残念ながらD評価となっていました。また、プラごみに危険物などが混入すると、プラスチック収集場の手作業で選別する作業員がけがをする恐れがあるなど、大変危険なので絶対に入れないください。

また、注射器などの医療系廃棄物



検査の様子

はごみ袋へ入れて地域のごみ集積場へ出してはいけなないものがあります。詳しくは環境衛生課までお問い合わせください。

ごみの分別にご理解とご協力をお願いいたします。

### プラごみから不適合物として抽出されるもの

- ・汚れたプラスチック製容器包装
- ・PET製の容器
- ・プラスチック以外の容器包装
- ・事業系廃棄物
- ・医療系廃棄物（インスリン注射器など）
- ・危険物（ライター・かみそり・乾電池など）
- ・二重袋 —— など

### 環境衛生課のエコ活動

昨年10月20日（日）に開催したとんどんまつりの環境衛生課ブースでは、保育所で保護者から頂いた不要となった子ども服のバザーを開き、大盛況でした。売上金で絵本を購入して、保育所へプレゼントします。また、生ごみの減量に役立つ水切りネットもお配りし、大人気ですぐになくなってしまいました。ごみ減量の啓発活動が、ごみの

量を少なくし、使えるものは繰り返し使用する、エコな暮らしを始めるときつけになればと思います。



とんどんまつりの環境衛生課ブース

### 家庭から出る 燃えるごみの収集量 令和元年（2019年）10月／約290トン 分担金相当額／約720万円

有田川町の家から出る燃えるごみや燃えないごみは環境センターで処理されており、その運営費の一部を分担金として支払っています。分担金はごみ搬入量と人口に基づいて計算され、10kg当たり約250円かかることとなります。

生ごみの水切りやコンポスト容器の利用など、ごみ減量によって環境にも町財政にもエコな暮らしを目指しましょう。

広報ありだがわ11月号に関するおわびと訂正  
当コーナー、酸性雨調査結果の表中、吉備庁舎の5月9日と7月9日の欄に「190」と記載しましたが、正しくは「100」です。ここに訂正し、おわび申し上げます。